



すなわが

荻田町青少年育成町民会議だより

オアシス人形劇公演



6月22日(金)にオアシス人形劇を若久青い鳥保育園で見させていただきました。
この日は「ゆめタイム」の5名の方々による、楽しいひとときでした。
手あそび、絵本読み聞かせ、パネルシアター、人形劇、紙芝居等を作り、皆でオアシスのあいさつを大声で唱えました。

園児からは「楽しかった」と可愛い声があがっていました。ゆめタイムの皆さんもとても楽しそうに演じていました。ありがとうございました。

ところで青い鳥保育園 園歌が清水国明作詞、小室等作曲だと知っていますか？

R.M



青少年を明るくのびやかに育てよう

菟田町青少年育成町民会議 **第24回 総会**

とき：平成24年4月26日（木） ところ：三原文化会館大ホール



平成24年4月26日（木）菟田町青少年育成町民会議第24回総会が開かれました。

来賓として、行橋警察署生活安全課長 島崎浩一 氏、菟田町議会副議長 常廣直行 氏がご出席くださいました。

副会長の挨拶から始まり、昨年度の主な事業と決算報告があり、今年度の事業計画案などを提案。当町民会議の今後の課題等について活発な意見が出る中で無事、総会を閉会しました。

重点目標としては

1. 子ども同士や子どもと大人のふれあいを重視し、地域での異年齢の交流の場となる諸行事を企画し、各団体の活動を推進する。
2. 青少年の非行防止に努め、不審者や事故等から子どもたちを守る活動を推進する。
3. 菟田町が取り組んでいる「菟田町非行防止推進事業」の主旨に沿い、積極的に事業に参画する。
4. 青少年も社会の一員であることを自覚するようなボランティア活動を支援する。
5. 青少年問題に関する、広報・啓発活動を推進する。

以上を重点目標に、関係機関と密接な連携のもと、地域住民と協力して青少年の健全育成に努めてまいります。



平成24年度 事業計画

- | | |
|-----|--|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ運動（年間） ○少年を守る日補導（毎月第3水曜日） ○理事会・総会 |
| 5月 | ○県民会議総会出席 |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ○オアシス人形劇公演
（対象：幼稚園・保育園） ○朝の声かけ運動 |
| 7月 | 青少年を非行から守る全国強調月間 <ul style="list-style-type: none"> ○有害図書指導訪問 ○オアシス人形劇公演
（対象：幼稚園・保育園） ○夏休み特別補導 ○すこやか68号発行 ○少年非行シンナー等薬物乱用防止講演会 ○親子ふれあい広場 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ○夏休み特別補導 ○菟田駅前盆踊補導 ○菟田町盆踊補導 |
| 9月 | いじめストップ強調月間 <ul style="list-style-type: none"> ○いじめストップキャンペーン実施 ○健全育成講演会 ○かんだ港まつり花火大会補導 |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ○神幸祭補導 ○子どもフェスティバル ○オアシス等入選者表彰 ○朝の声かけ運動 ○教育講演会 |
| 11月 | 全国青少年健全育成強化月間 <ul style="list-style-type: none"> ○先進地視察研修 ○すこやか69号発行 |
| 12月 | ○年末年始特別補導 |
| 1月 | ○家庭教育講座 |
| 2月 | ○どんど焼き補導 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ○委員役員講演会 ○春休み特別補導 ○すこやか70号発行 |

7月は青少年を非行から守る強調月間です。

この機会に自分・地域の子どもたちを見直しましょう。



少年非行・シンナー等薬物乱用防止講演会開催される

1. 日 時 平成24年7月10日(火) 18時30分から
2. 場 所 荻田町中央公民館 第5研修室
3. 講 師 福岡県警察本部生活安全部少年課 飯塚サポートセンター 係長 安永 智美氏
4. 演 題 生まれて来てくれてありがとう ～大切なお守り～

少年非行・シンナー等薬物乱用防止講演会

講師の安永智美さんは、昭和59年に福岡県警察官となり、警察官として12年間勤務した後、平成8年から「少年育成指導官」として、少年相談や立ち直り支援を行っています。また、年間200回を超える講演会や長年にわたる補導活動の体験をつづった著書『言葉ひとつで子どもは変わるーちゃんと聞くよ、君の思いー』(PHP研究所)を出版するなど幅広く活躍されています。

講演の内容は、「立ち直り支援事例」として2例、「虐待の傷跡」として3例の問題行動について紹介がありました。いずれも、少年サポートセンターで出会った1,000人近い少年の実体験に基づいたものだけに、参加者の胸に重く迫ってくるものがありました。「非行少年は不幸少年」として、問題を起こす子どもは、必ず問題を抱えている。「困った子どもではなく、困っている子どもとしてとらえて下さい」という指摘は、私達が少年非行と接する時に大変参考となるものでした。今は問題児と見られている子どもたちも、本来はみんな「普通の子ども」、むしろ「いい子」でした。問題行動の根っ子は、子どもが誕生し、現在までの成長過程において癒されないままずっと溜められてきた「悲しみや怒り」だということです。問題行動には、厳正な対応が求められますが、それ以上に「根っ子」へのケア、共感(分かち合うこと)が必要です。つまり、親の愛情や悲しみを「根っ子」に注ぐことで、「自分は愛されている、大切な存在だ」という自尊心や自信を育てていくことが大切なのです。最後に、子どもを守るための「お守り」として、次の言葉を伝えていただきました。参加者の胸にもきつと届いたと思います。

- 1 聞く＝話をちゃんと聞いてほしい(共感) 2 認める＝できる、できないではなく頑張ったことを認めてほしい(うれしい)
3 叱る＝悪いことは悪いと真剣に叱ってほしい(教える) 4 伝える＝生まれてきてくれてありがとう、大好きだよ(感謝)



「朝の声かけ運動」

♪ おはようございます ♪



6月15日(金)くもり

「おはようございます。」元気な声が校門に響いています。笑顔で登校していく子ども、なんとなく元気のない子ども…様々です。「朝食はしっかり食べたのかな。」「今日一日がんばってね。」と心の中で応援しながら声をかけました。

校門に立っている委員の姿を見つけると、元気よく走ってきたり、恥ずかしそうにうつむいたり、微笑ましい姿を見せていただくことができました。

そんな子どもたちに負けないくらい委員も元気にあいさつをしました。

子どもを見守る「朝の声かけ運動」ですが、子どもたちの笑顔やあいさつに自分自身が元気づけられていることに気づきました。子どもたちのすこやかな成長を願い、これからも「朝の声かけ運動」に参加していきたいと思っています。



■馬場小学校



■南原小学校



6月2日(土)に田植えの前に豊作を願って「どろんこ大会」を開催 開催地:黒添地区

どろんこは誰!?

最初はなかなか「泥地」に入れない状態でしたが、「スタート」の合図で走る…走る…。泥を跳ね上げ…走る。みんな、『どろん子』になっていました。楽しそうでした。



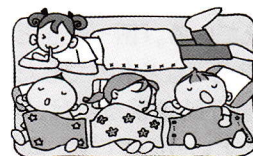
ジュニア達の企画のどろんこ大会



用水路であそぶ子どもたち

今年で10回目! 通学合宿

小波瀬コミュニティ(3回目)、中央公民館(10回目)になりました。10回目ともなると、最初の子どもたちは大人になっていることでしょう…。「以前は…」の話も体験者の中からでます。又理解者も多くなりとても感謝しています。子どもたちの世界に同じはありません。1年、1年違う姿あり、社会の変化で子どもたちを取り巻く環境も変化しつつあることを知らされました。



★ 買い物する子どもたち



★ 登校する子どもたち



★ 調理をする子どもたち

夏休みチャレンジキャンプ2012開催します。

実施場所: 英彦山青年の家 キャンプ地

対象者: 小学4・5・6年生

問い合わせ: 苅田町子ども会育成連合会事務局 (093-436-0061)

担当 田口 (090-4589-3200)



バア～バアの一言

No.23

よくある話ですが…あなたはしていましたか?

買い物最中で自分の欲しい買い物ができず大声で泣く子、人のものを取り上げる子、あいさつのできない子、言葉使いが乱暴な子、一人遊びの好きな子、みんなと仲良くできない子、などなど子どもたちから親は、試練を与えさせられていることでしょうか。どうですか?子どもたちは何も知らないのです。子どもたちは「真似」から入ります。「してはいけない事はしてはいけません」と社会のルールがあるのです。1回目は3歳前後、2回目は小学低学年前後までには、しっかりと「しつけ」と「自尊心」は身につけたいものですね。又昔と違い子どもと接する時間が大いに少ない社会環境の中であれば、なおさら子どもと会話をする機会を作りましょう。「手は離しても目は離さない」ことが大事だと思いますよ!! バア～バア…。



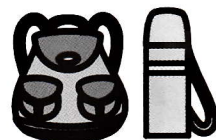
南原っ子 元気 本気 根気

1年生を迎える会

4月



本年度入学してきたぴかぴかの1年生。南原小学校の仲間入りをして3日目、13日(金)に全校児童による「1年生を迎える会」が行われました。始めは、ちょっぴり緊張気味の表情でしたが、ペアの6年生と楽しく過ごすうちに、緊張もほぐれ、たくさんの笑顔がこぼれるようになりました。あいにくの雨降りで「歓迎遠足」には行けませんでした。6年生と食べるお弁当は、ほっぺが落ちそうなくらい美味しかったです。



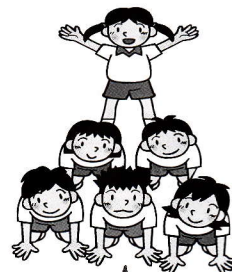
1年生を迎える会では、1年生が元気よくゲームをしてくれてうれしかったです。歓迎遠足では、出発して3分くらいで雨が降り出し、とても残念でした。でも、たくさんの1年生と一緒に弁当を食べて、みんな笑顔でした。最後の遠足は行けなくて残念だったけど、かわいい1年生と一緒に過ごせて楽しかったし、うれしかったです。(6年・集会委員会委員長)

運動会

5月



5月26日(土)、天候にも恵まれ、予定通り行われました。1年生にとっては初めての運動会、6年生にとっては最後の思い出に残る運動会でした。どの学年も、それまでの練習の成果を発揮するために、全校スローガン「全力勝負」をめあてに精一杯取り組みました。いい汗が流れていましたよ☆



どの学年も自分たちの競技を一生懸命がんばっていました。そして、他の学年が競技をしているときは、応援をがんばっていました。6年生で小学校生活最後の運動会だったけど、赤も白もよくがんばっていたので、思い出に残るいい運動会になりました。(6年・体育委員会委員長)

あいさつ運動

6月



南原小学校では、毎月第2週目の一週間、委員会活動を中心に「あいさつ運動」に取り組んでいます。当番の委員会のメンバーが、あいさつののぼりを持って、登校してくるみんなに大きな声で「おはようございます!」とあいさつをしています。元気な声が返ってきたときは、朝からとても気持ちがいいですよ。



全員が大きな声であいさつすることはできなかったけど、数人はきちんとあいさつしてくれたのでうれしかったです。この運動をして、あいさつは大事だと思いました。あいさつは、した人もされた人も気持ちがいいことが分かりました。(6年・給食委員会委員長)

『放課後子どもひろば』紹介②

町内6校の小学校を順に紹介させて頂きます。今回は、白川小学校です。

「子どもひろば」は、子どもたちのすこやかな成長を伸ばす機会を与える場所です。

子どもたちは、チャレンジタイムが大好き。多くの地域の皆さんや大学生の方々にご協力頂き、感謝しています。

チャレンジタイムとは・・・主に土曜日など、予め計画されたプログラムによる活動を行います。[手芸・工作・スポーツなど]



仲間での砂場遊びも、ひろばでよく目にする光景です。

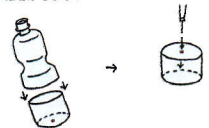
今年は、夏休みの平日(月～金) 9時から17時までと、曜日・時間ともに拡大されました。熱中症やケガに気をつけながら、子どもたちにとってますます楽しい居場所となればと思っています。



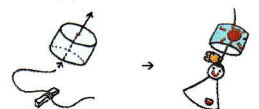
みなさんも作ってみませんか?
風りんを作ろう!

用意するもの: ペットボトル、カッター、キリ、カラーペン、ひも、わりばし、すず、たんざく

① ペットボトルの底のふんをカッターで好きな長さに切り、底のまん中に穴をあけます。カラーペンなどを使って、好きな絵をかきます。



② わりばしを 3～4cm に切って、ひもにしっかりとむすびつけて、ペットボトルの中から穴にとおします。ひもの一番下に、風を受けるかざりと音を鳴らすためのすずをむすびつけます。

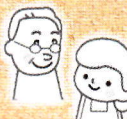


ちょっと質問!!

?



学童保育との違いは?



学童保育は、就労等の理由で保育できない保護者に代わって資格を持った専門員が児童を保育するものです。利用料は有料で「おやつ」がです。



子どもひろばは「見守りのある公園」というイメージです。保護者の責任のもと、登録している児童が自主的に参加・活動します。見守りスタッフは、地域の方々です。

毎月第3日曜日は
「家庭の日」



真剣な討議を重ねております。
健全育成家庭部会全体会議の様子

三役・部会長会議の様子



役員会・委員会
荻田町青少年育成町民会議では、年間の行事や身近な問題など推進・具体化していくため、役員会・委員会を開催しております。

編集・発行
荻田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会
093・434・9838



編集長
松枝 玲子
濱田 勝枝
尾田 弘子
田口 朝子
金丸 晴樹
工藤 正志

24年度すこやか編集委員

田口 朝子

朝は、子どもたちの活き活きとした元気に跳ねる姿がいいと思うのは、私だけでしょうか?
朝は、大事!笑顔で元気よく子どもたちを送り出しましょう。
がんばろう!おとうさん、おかあさん。

編集後記

4月から編集委員になりました。自分なりにがんばります。

ところで、私は朝「子ども見守り隊」の活動を行っています。子どもたちや地域の方々とあいさつを交わす時、とても心が癒されます。そんな中、子どもの歩く姿が少し気になります。活気無く、足をズルズルと引いて歩いてきます。